

生活の中の安全を 考えてみよう

— 高校生のためのリスク学入門 —

3月7日 土

10:00 — 16:00

※ 昼食をご用意ください

会場：静岡県立大学 食品栄養科学部 2号棟 1階大講義室（裏面の地図参照）

対象：高校生（高校生以外で参加希望の方は下記問い合わせ先までご連絡ください）

■ 申込方法

下記の URL または右の QR コードにアクセスしていただき、必要事項をご記入ください。

※ 3月2日（月）締切、先着約30名程度まで [URL] <https://goo.gl/nSr3VF>

※ 団体に申し込まれる場合は、受講者名をまとめて下記問い合わせ先までご連絡ください。

※ 締切後でも受け入れが可能な場合があります。下記問い合わせ先までご連絡ください。



■ 何が学べるの？

わたしたちは、日常生活でも何か事故や事件が起こった場合でも、安全かどうかという話をします。家族や先生も「あそこは危険だから行ってはダメ」だとか「これは安全だから食べても大丈夫」だとか言います。でも、安全と危険の境目は誰がどうやって判断しているのでしょうか？ 安全な食べ物って何でしょう？ 東日本大震災の直後は、放射性物質や大地震の「リスク」に注目が集まりました。私たちはこれからも様々な「リスク」とともに生きていかななくてはなりません。このセミナーでは、科学や社会に興味のある高校生と「安全の科学」に携わる研究者が一緒になって、安全やリスクについて学んでいきたいと思います。

■ 何をするの？

食品、薬品、化粧品など身の回りの化学物質や、日常での事故等の具体的な事例を題材に、「安全とは何か」「リスクとは何か」について考えるための講義と、あるシナリオのもと、みなさんに役割を割り当て、それぞれの立場から問題をどのように捉え、どう対策するかを考えるロールプレイをおこないます。

※ 基本的な内容は、過去に同タイトルで開催したイベントの内容と同じです。

主催

静岡県立大学
食品栄養科学部・経営情報学部

問い合わせ先

静岡県立大学 経営情報学部 上野雄史

✉ ueno@u-shizuoka-ken.ac.jp

☎ 054-264-5241

（なるべくメールでお問い合わせください）



岸本 充生
きしもと あつお

専門はリスクの評価、経済分析、リスクガバナンス。安全の問題を、対象や学問分野を超えて、横断的に研究しているなかで、伝統的な科学とは性格の異なるレギュラトリー・サイエンスの普及活動をおこなっている。

大阪大学 データビリティフロンティア機構



内藤 博敬
ないとうひろたか

専門は環境微生物学・細菌学・ウイルス学・プロテオミクス。ウイルスや細菌の感染予防対策法とその効果について幅広く研究する。ヘルスケアプランナー検定協会、理事。JST 理科大好きボランティアとしても活動している。

静岡県立大学 食品栄養科学部



小野 恭子
おの きょうこ

専門はリスク評価、土木環境工学。化学物質リスク評価に関して手法開発と実務の双方に携わる。カドミウム、六価クロム等についてリスク評価結果を書籍として公表している。

国立研究開発法人 産業技術総合研究所



戸敷 浩介
と しきこうすけ

専門は都市廃棄物処理、国際資源循環。環境影響、エネルギー、経済性の視点から、アジアにおける廃棄物由来の環境負荷抑制と資源回収に関する研究を幅広くおこなっている。

宮崎大学 地域資源創成学部



上野 雄史
うえの たけふみ

専門は財務会計、国際会計、経営分析。有価証券報告書におけるリスク情報に関する有用性や企業の評価に与える影響分析をおこなっている。

静岡県立大学 経営情報学部



小栗 朋子
おぐりともこ

専門は環境保健学、曝露評価、微量元素分析。ヒトの健康にかかわる環境化学物質、特に有害金属類の曝露評価、さらにはリスクの低減という視点で研究をおこなっている。

国立研究開発法人 産業技術総合研究所



関谷 翔
せきや しょう

専門は科学技術社会論、リスク論、科学技術コミュニケーション論。東京大学大学院で特別研究員として研究するかたわら、サイエンスコミュニケーターやリスクコミュニケーターとしても活動している。

東邦大学 理学部

会場の地図 (キャンパスマップ)

静岡県立大学 食品栄養科学部 2号棟 1階大講義室

